

第1回越谷市環境審議会における「越谷市環境管理計画中間見直しの骨子案」に係る主な意見

<考え方の区分>
 A:計画(素案)に反映します
 B:計画(素案)には、ご意見の考え方も含め整理しています
 C:今後の取組の参考とします

No.	素案該当ページ	章	該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	区分
1	p.9	—	計画全体	ネイチャーポジティブなどの新しい考え方を踏まえて中間見直しを行っていただきたい	第1章中の「環境を取り巻く国内外の変化」に、ネイチャーポジティブなどの考え方を追記するとともに、実施施策を整理しています	A
2	p.52	3章	基本目標1 取組指標「越谷げんき de MaaS登録者数(総振)」	「越谷げんき de MaaS」が指す内容を説明したほうがよいと考える	「越谷げんき de MaaS」の補足説明を追記します	A
3	p.58	3章	基本目標1 1-4-⑨「徒歩・自転車利用の促進」	自転車利用の促進について、自動車専用レーンの整備等の施策を検討してもよいと考える	実施施策として「自転車通行帯の整備」及び「自転車利用の促進」を追加します	A
4	p.59	3章	基本目標1 1-5-⑪「分別の徹底によるごみ減量・資源化の促進」	実施施策の一つに「ごみ分別アプリ「さんあ～る」を通じた市民の意識啓発」とあるが、施策名と取組内容の整合を参考したほうがよいと考える	取組内容を勘案し、実施施策名を「ごみ分別アプリ等の活用」に修正します	A
5	p.67	3章	基本目標2 2-2-④「水害対策の推進」	実施施策「公共下水道(雨水)の整備」に係る表現が分かりにくいため再考したほうがよいと考える	当該実施施策には、内水被害の軽減を図るため、雨水貯留施設の整備などにより貯留機能を強化するとともに、公共下水道の整備による内水氾濫対策が含まれており、その内容を集約した名称としていますので、ご理解いただければと存じます	C
6	p.69	3章	基本目標3 取組指標「集団資源回収実施団体登録件数」	目標値が現状値よりも減少している理由	子ども会の解散等により、団体登録件数の減少が続いているが、ごみの減量化や資源の有効活用の観点から重要な活動であるため、推移予測の350件よりも高い目標として、令和12年度400件を設定しています	C
7	p.76	3章	基本目標4 取組指標「希少植物種の保護実施箇所数(総振)」	希少植物種の対象等が明確になっていないため、説明が必要だと考える	対象とする希少植物種の補足説明を追記します	A
8	p.76	3章	基本目標4 環境指標	生物多様性の回復を客観的に評価できる指標が必要になると考えるため、地域の団体の協力を得るなど、市内の動植物等の基礎調査の実施を検討していただきたい	次回の全面改定に向けて、ご意見や埼玉県・他市の事例を調査研究しながら検討します	C
9	p.80	3章	基本目標4 4-2-⑤「緑の保全・管理と整備」	実施施策の一つに「樹林地の保全管理に向けた調整」とあるが、自然共生サイトへの登録との関連性がわかりにくくと考える	4-2-⑤「緑の保全・管理と整備」の概要において、「関係団体等と連携し、自然共生サイトへの登録を検討します」との記述を追記します	A

No.	素案該当ページ	章	該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	区分
10	p.82	3章	基本目標4 4-3-⑩「生態系ネットワークの形成」	生態系ネットワークの構築の実現を目指していただきたい	ご意見や埼玉県・他市の事例を調査研究しながら検討します	C
11	p.131	6章	計画の推進体制	現行計画では、現在解散している「越谷市環境推進市民会議」が市民・事業者の推進組織として位置付けられているが、これに代わる組織が必要だと考える	環境施策を推進するにあたっては、市民団体をはじめ、「こしがやSDGsパートナー」等と連携して取り組んでいくことが必要だと考えているため、記述内容を修正します	A
12	—	—	その他	中間見直しの策定体制において、「こしがやSDGsパートナー」に意見を聞くとしているが、環境サポーターにも聴いたほうがよいと考える	中間見直しにあたっては、市民や事業者から環境施策等に関するご意見をいただきながら策定したいと考えております。今回は、策定スケジュール等を勘案し、パブリックコメントのほか、「こしがやSDGsパートナー」への意見聴取を実施します	C
13	—	—	計画全体	施策数が多い印象のため、次回の全面改訂時には、施策等を精査して策定したほうがよいと考える	次回の全面改訂時には、ご意見を参考にしながら検討します	C

※色付き箇所は、審議会後に文書でいただいたご意見です。